

八幡市のお米屋さん、過疎高齢化が進む島根県飯南町のNPO法人を支援し、同町産の無農薬野菜の販売を通してまちづくりを後押ししている。店主は「農産物から地域や農業の現状を知ってほしい」と寄付も呼び掛けている。

# 過疎化の島根 農業者を支援

全国の無農薬や減農薬のコメを販売する「ウエトミ」。店主の上田那未さん(38)は「5ツ星お米マイスター」の資格を持ち、全国の産地や学校でコメや食に関する講演を開いている。

一昨年、島根県飯南町での講演の際、地元NPO法人「里山コミッション」と知り合った。同法人は、過疎化が進む山間地の町で地元住民の病院送迎や高齢農家が生産した農産物の販路開拓に取り組んでいる。

上田さんは「農業でまちを活性化」という同法人の活動に賛同。7月に

## 野菜仕入れ販売

は第1弾として、地元農家や同法人が無農薬で生産したタマネギ約60kgを仕入れた。

上田さんは「高齢でも農業を続けていける支援につなげたい」と意気込む。里山コミッションの松田辰志副理事長(57)は「野菜を手にして少しでも産地に思いをさせてもらえたらうれしい」と喜んでいる。

店では買い物客へ野菜配布による寄付の呼び掛けや販売収益による息の長い資金援助を予定している。問い合わせはウエトミ ☎075(982)9180。(富田芳夫)



島根県飯南町の農家などが生産した無農薬のタマネギを手にする上田さん。寄付金箱(右下)も設置し、寄付を呼び掛けている＝八幡市八幡